~13
1498

馬鹿郷水滸大傳

上

遠
1.498

1498

馬鹿村は大い大安寺丹波國壁山に壁人切羽ふしく
柏子木の一を寄て番を命を惜り寐言を聞ふ命ち
慢々寄ふ遊ゝて芸ふ將見ちす彼馬でも呑ゝの志ふて
頗球面の賽子中年ふ及でますく紙智慧を決て
世ふ鳥さしべ出ち馬村氏の思ふ方ふの智ふ思ふ出ふ
底ふをうつてあち面の美器後嗚も紙のむゝ器の
ゝてりとゝちり殺て刈馬鹿邑水夫傳とゝちの寺ふ
二ふ坊ふの霞蕭藝謹言

馬鹿邯水大傳

下

上冊

新版目録

三ケ通金持容気　上中下

紙子本通人義　上中下

馬鹿邯水太閤　上下

今様万歳鳩屋　五冊物

札賃百枚限
御伽金百疋
今日

御免
二ノ富金百両
三ノ富金三十両
四番ヨリ午六番マデ
金壱分ヅヽ

突留　金二十両

月日　藤ヶ崎
市仕

北尾政美画